

2025 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 ニッコー株式会社
代表者名 代表取締役社長 三谷 明子
(コード番号 5 3 4 3 名証メイン)
問合せ先 取締役 布川 一哉
(TEL. 0 7 6 - 2 7 6 - 2 1 2 1)

連結業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

本日付「2025 年 3 月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表した 2025 年 3 月期(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)の連結業績につきまして、前期実績値(2024 年 3 月期(2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日))との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、当社は当該期間に係る業績予想を公表していないため、増減につきましては実績値との比較になっております。

記

1. 2025 年 3 月期通期連結業績の前期実績との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前期実績値 (A) (2024 年 3 月期)	14,719	147	188	145	6 円 22 銭
当期実績値 (B) (2025 年 3 月期)	15,068	367	361	289	10 円 93 銭
増減額 (B - A)	349	219	172	144	
増減率 (%)	2.4	148.8	91.7	99.4	

2. 差異の理由

売上高は、主に次の理由により、前期実績値を上回りました。

住設環境機器事業においては、能登半島地震の震災対応物件の売上計上等、機能性セラミック商品事業においては、一部取引先企業におけるアルミナ基板の在庫消化等により、増収となりました。

営業利益は、浄化槽の値上げ効果、工事部門およびバンクチュール®(システムバスルーム)の利益率改善、機能性セラミック商品事業の O A 機器用製品およびシャイングレーズ®(グレーズ基板)の売上増加等により、前期実績値を上回りました。

経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は、上記の利益上昇要因が影響し、前期実績値を上回りました。

以 上